

9月24日、柏原、氷上郡春日部村において京大講師三木茂理学博士の講演。

9月26日、但馬、豊岡高女にて京大講師藤井祐一博士のショウジョウバエの染色体。

9月28日、神戸、阪神、阪急伊丹集合、昆陽池付近において水生植物を中心に採集会。

10月16日、本部において理事会。会誌、会員名簿、明石支部分割、賛助員、会員章、総会、役員旅費、理事増加の件につき討議す。

10月17日、姫路、室井を招き姫路市北郊において「秋の野草に親しむ会」。

11月5日、赤穂支部結成、生物教育研究会が、坂越中学にて開催され、生島の植物、貝類等の研究。

11月10日、会誌原稿整理のため、古川、稲葉、室井、神戸二中にて会合。

11月13日、本部総会準備会を姫路市立一高女にて開く。

11月16日、本部、川崎氏中心指導の下に大塩ノジグクの採集会。

11月29日、阪神、講師京大三木茂博士。先生を囲んで座談会、鑑定会を開き、30日は白川において、化石採集会と白川化石について講演会。

12月6日、本部、姫路市立一高女において第1回総会を催す。富田雅次医学博士の酵素の話、研究発表。

12月13日、神戸、阪神、神戸二中にて、東京大学日光植物園長松村義敏先生から皇族方の生物研究につきお話を承る。

昭和23年1月7日、本部、明石女商で新中講習会開催につき理事会を開く。

2月7～8日、姫路、新中生物講習会、講師姫高楠教授、大浦、稲葉氏。神戸、阪神でも神戸二中で開催。講師、神戸海洋気象台長松平康男氏、阪大藤田武夫博士。

(むろい ひろし：名誉会長)

懐かしい思い出

近藤昭一郎

はじめに

兵庫県生物学会発足50周年の節目にあたり、発足初期の頃のさまざまな活動を機関誌『兵庫生物』のNo. 1～4に記録されている学会記事の中から主なものを抜粋して紹介をして、思い出すままに現代の若い会員の人達に語り伝え、今後の参考に供したい。

学会記事

昭和22年

この年については室井先生と重複するので、室井先生の記事を参照されたい。

昭和23年

2. 7-8 姫路、新中生物講習会、講師：楠教授、大浦、稲葉氏。
神戸、阪神、新中生物講習会、講師：神戸海洋気象台長 松平康男氏、阪大 藤田武夫博士、会員：古川、川崎、井田、八尾、室井氏。
4. 18 神戸、阪神、神戸市立教材園見学 神戸市山地課長 山本古之助氏の講演、河原園長の案内、説明。
4. 25 神戸、阪神、京大三木茂博士指導により、江井が島方面の動植物化石採集会を開く。
4. 26 柏原、柏原～黒井間の山地で細見、松山両氏指導の野草採集会を行う。
5. 2 神戸、阪神、山の街、箕谷方面の昆虫採集会を開く。指導：宝塚昆虫館 戸澤先生。
5. 16 神戸、阪神、土山で小林桂助氏指導による野鳥の会を開く。
5. 23 神戸、阪神、宝塚で戸澤先生指導の昆虫採集会を催す。
5. 29 本部、加古川東高校で23年度総会を開く。参加者数約100名。講演：農大三浦博士、国立病院長 国島医博、会員研究発表。
6. 6 神戸、阪神、奈良万葉植物園、奈良女高師見学。指導：小清水教授。
6. 13 神戸、阪神、能勢妙見で戸澤氏指導の昆虫採集会を催す。
6. 16 柏原、氷上郡妙見山で、京大名誉教授川村多実二氏指導で野鳥研究会を開く。
6. 20 柏原、柏原高校松山教諭の編集で、『氷上郡の自然研究』月刊発行を行う。
7. 14 姫路、支部総会、研究会を県立船津採種場で開く。
7. 25 本部、明石公園を中心に動植物採集会を催す。動物（古川、春名、安藤）、蘚苔（紅谷）、植物（川崎、室井）指導。
8. 1 本部、神戸、山の街を中心に動植物の採集会を行う。蘚苔（紅谷）、動物（古川）、植物（室井）が指導。
8. 3-4 柏原、氷上郡最高峰の粟賀峯で、松山、山本、細見氏指導の動植物採集会を行う。
8. 3-5 龍野、船越山で動植物採集会座談会を開く。蘚苔・粘菌（紅谷）、植物（川崎、室井）、貝（古川）、昆虫（田中）が指導。
8. 4-5 姫路、家島を舞台に研究会を開く。講演：井上完爾先生。
8. 6 美囊、三木町上の丸を中心に三木中学校長都倉氏指導で動植物採集会を行う。
8. 7 美囊、中吉川において都倉氏指導で動植物採集会を行う。

8. 7-11 本部, 洲本柳学園で広島文理大, 瀧教授と稲葉氏指導の下に臨海実習を行う。
 8. 21-22 赤穂, 坂越生島を中心に臨海実習を行う。講師: 古川, 丸山, 原, 中川, 高見の諸氏。
 8. 24 美囊, 志染村高男寺で都倉氏指導の動植物採集会を行う。
 8. 29 美囊, 北谷方面で紅谷氏指導の下に動植物採集会を行う。
 10. 7 本部, 諏訪山小学校で第3回日本生物教育大会を開催する。大会第1日目, 講演, 協議会, 研究発表
 10. 8 大会第2日目, 諏訪山小学校今井教諭の指導で, 「イモほり」の実地授業。講演: 関西学院大学古爪教授, 「人間の条件反射研究について」
 10. 9 大会第3日目, 見学の日。①六甲山高山植物園から有馬にぬけて有馬温泉に親しむ班。②阪大の電子顕微鏡をのぞく班。③武田薬品工場でペニシリン製造を見る班。④灘の生一本の製造工場を味わう班。
 10. 16-11. 4 日本学術研究会で明石中八木海岸の化石層を発掘。東大人類学研究室の長谷部言人博士を主任に, 人類学方面を鈴木尚, 地質学方面を高井冬二, 植物学方面を前川文雄, 亘理俊次の各委員が当たり, 入夫, 学生20余名が参加。
 10. 25 龍野, 陸井初治氏を講師として, 鶏籠山の植物採集会を行う。
 10. 30 本部, 明石西八木海岸の明石原人発掘現場見学会を催す。長谷部言人博士の講演を聞く。
 11. 7 神戸, 阪神, 神有沿線田尾寺, 五社間で植物採集会を催す。
 11. 13 兵庫高校で京大北村教授の講演「栽培植物の変遷」を聞く。
 11. 14 神戸, 阪神, 京大北村博士指導により, 大塩海岸でノジキクの採集会を行う。
 11. 20 小野, 川崎正氏を講師として, 法華山に植物採集会を開く。
 12. 11 姫路, 琴丘高校で支部研究会を開く。午前, 研究発表。午後, 種畜場見学。
- 昭和24年
1. 22 柏原, 理科教育講演会を開く。講師: 大浦茂樹氏。
 1. 22 神戸, 阪神, 神港高校で京大上野助教授の講演: 「淡水魚の食性」を聞く。
 2. 19 神戸, 阪神, 神港高校で, 奈良女高師小清水卓二教授の講演「植物成長ホルモンについて」を聞く。
 5. 14-15 神戸, 阪神, 伊吹山植物採集, 参加者26名。
 5. 21 本部, 灘高校で生物学会臨時総会, 参加者150名。協議会, 会員研究発表, 講演: 西京大学山崎教授「花粉分析, 花粉分析の使命, 成果および方法」。
 5. 28, 29 神戸, 阪神, 雪彦山植物採集会, 京大北村, 田川, 広江, 中井諸先生指導。
 6. 4, 11, 18 神戸, 阪神, 灘高校で講演: 阪大藤田武男博士「神経についてⅠ~Ⅲ」。
 6. 5 神戸, 阪神, 唐櫃, 有馬間動植物採集。講師: 東 正男先生。
 6. 26 姫路, 屠殺場見学, 午後日本フェルト工場見学。
 8. 9-12 本部, 生物指導者講習会。
第1日講師: 阪大藤田武男博士 顕微鏡手技 固定, 生体染色。
第2日 血球ゲラチン銀染色法, 心臓環流実験。
第3日 講師: 阪大久保教授, 腩液分泌, 小腸の自動運動(イヌ使用)。
第4日 講師: 阪大安澄教授, 電子顕微鏡による観察。
 8. 10 柏原, 氷上郡篠ヶ峯で, 植物, 昆虫, 地質等の研究会。講師: 松山確郎, 細見末男, 山本義丸の諸氏。
 9. 18 神戸, 阪神, 六甲山植物採集。指導, 大浦, 室井先生。
 9. 20 柏原, 柏原町明治乳業および保健所を見学。
 10. 2 神戸, 阪神, 明石, 明石公園植物採集会。講師: 秋山, 室井先生。
 10. 23 神戸, 阪神, 摩耶山隠花植物採集会。講師: 京大田川基二博士。
 11. 3 神戸, 阪神, 布引, 再度山植物採集会。京大北村博士指導。
 12. 3 神戸, 阪神, 兵庫高校で講演, 「粘菌について」講師: 紅谷先生。

思いでのあれこれ

これらの記録を振り返ってみるにあたって, その当時の我が国の経済, 社会状態はどのようであったかを思いおこしてみる。昭和22年というと, かの悪夢のような終戦からわずか2年目の年で, 都市部の大部分は戦災の廃虚からやっと立ち直ろうとしているところで市街地の建物は, いわゆるバラック建てがほとんどで, 本格的な建造物はまだまだという状態であった。その当時のアメリカ進駐軍の幹部将校たちは六甲山麓に焼け残った日本人の財閥の立派な邸宅を強制接收して入居し, 下級の一般兵士たちは三宮南のイーストキャンプと新開地北のウェストキャンプの金網で囲まれたかまぼこ兵舎で生活していた。当時の円とドルのレートは1ドル=360円であり, 日本の一般サラリーマンの月収は最初700円に抑えられていたので, その時の白米の相場(闇値)は1升200円だったから, 1か月の給料で白米は3升しか買えなかったのである。それに対して, 進駐軍の米兵は下士官(サージャント)で週給50ドルだったから月額にして200ドル=72,000円ももらっていたわけである。日本人のサラリーマ

ンの約100倍近い金額である。ちなみに、筆者の昭和22年4月1日付けの初任給は本俸月額390円であった。

そのような劣悪な経済状況の時代でも、敗戦により世界の四等国に落ちた日本を再び文化国家に再興するためには「まず教育、特に科学教育が必要だ」ということが「合い言葉」のように国民各自の自覚を促し、それぞれが努力を惜しまなかったものと思われる。兵庫県生物学会の創設は、その一つの具体的な現れである。

衣食住も充分とは言えない状態の中にあっても、わが兵庫県生物学会の活動状況を見ると、昭和22年6月に発足し、さっそく7月から、それぞれの支部で採集会や観察や実験実習の講習や研究会が着々と計画実施されているのに全く頭が下がる思いである。前記の生物学会の活動行事の中から、特に印象に残っているものを2、3紹介したい。

その1. 昭和23年4月25日三木茂博士指導により江井が島方面の採集、見学会に参加した日のことが、ついでこの間のことのように懐かしく思い出される。三木博士は質素なナッパ服に、汗に汚れた登山帽姿で、親しくご指導いただいた。溜め池のオニバスやミクリなどを観察し、中八木海岸では博士が黙々とメタセコイアの化石化した球果を掘り出されるお姿は今も忘れられない。

その2. 昭和23年8月7～11日洲本市柳学園で行われた臨海実習。その当時の柳学園は洲本の海岸（大浜公園）近くにあり、海水のくみ取り、海藻やウニの採集などにも便利で、実習の場所としてはまことに好適であった。講師として広島文理大の瀧巖先生のタコの話もおもしろく聞き、ウニの発生実験やプランクトンの観察には兵庫県出身の稲葉先生に親しくご指導をいただいた。

宿舎は柳学園さんの二階の大広間をご提供いただいた。理科の実験室をお借りして実習させていただき大変ありがたかったことを今も感謝の念で思い出される。参加者80名。

その3. 昭和24年8月9～12日生物指導者講習会。

第1日、第2日は灘高校で行われ、講師は阪大医学部の藤田武夫博士で、特に第二日目のイモリの赤血球のゲラチン銀染色法の実習はすばらしく、50年近く経過した現在でもその時作成した永久プレパラートは今もお健在である。

第3日、阪大医学部久保教授の生理学研究室で、生きた犬を実験材料としたデモ実験は今でも明瞭に記憶している。

第4日、阪大医学部の安澄教授の研究室でアメリカ製の最新式の電子顕微鏡でケイソウなどを見せていただいた。その時の顕微鏡の大きさは高さが3～4mくらいあったことを記憶している。

おわりに

兵庫県生物学会発足初期の主な年間行事を列挙して、その中から2、3の特に思い出深い断片を紹介した。おわりにあたり特筆したいことは、その当時の給料をはじめ衣食住の極めて不十分な時代にもかかわらず、一流大学の諸先生方が地方の採集会や、講演会、講習会、研究会などにたびたび出向いていただいたり、大学の研究室を開放して、親しくご指導くださったこと、また、当時の生物学会の運営にあたられた先輩諸氏がなみなみならぬご尽力をされたことに対して深甚な感謝と敬意を表し、厚く御礼申し上げたいということである。

(こんどう しょういちろう：会計監査)

竜野支部発足当時の活動

杉田 隆三

現在の西播支部は、学会発足当時は姫路支部、竜野支部、赤穂支部に分かれていた。竜野支部発足当時には元会長の福田政次郎氏、三浦佳文氏や、成定五郎氏などが居られ福田氏が支部長であったと思う。当時の支部活動を手元に残っている資料で辿ってみる。

○22. 7. 20 竜野支部発会式…役員、規約の決定と懇談会。当日は参加しなかったのでその様子は判らない。支部会費年100円（入会金20円）。

○22. 8. 7～9 奥谷国有林植物採集会 講師：室井、建部氏 参加者：室井、建部、成定、森本、苗村、久宗、藤平、三宅、三木、島津、小谷、栗岡、吹田、谷畑、杉田、龍中生1名など（会誌には40名とある）経費60円（室井氏と私の最初の出会い）。

1日目 山崎宮林署に集合、宮林署のトラックに便乗し、12時に兵庫県公営署（引原ダム建設事務所）日の原合宿所に着く。昼食後、付近で採集。

2日目 音水溪谷で採集。100種あまり採集する。

3日目 9時30分宿舎発、宮林署の林用軌道（この後は現在サイクリングロード）のトロッコに便乗、上野土場に11時に着く。スリル満点だった。

○22. 8. 29 鶏籠山植物採集会…講師：室井氏、参加者：福田、成定、丸尾、青木、森本氏外44名

9時、竜野小学校に集合。校内の植物を観察してから11時に旧竜野高女の裏から上り紅葉谷に下りる。そのあと中原氏所有のカシボチクを見学する。

○22. 9. 21 竜野小学校で支部総会…成定、中山、鯉田、建部、杉田の研究発表あり。

○22. 12. 20, 21 採鳥会と講演会。講師：京都大学名誉教授 川村多実二氏。

1日目 午前、揖保郡林田村の鴨池で採鳥会。午後、林田中学で「鴨」と題して講演会。